



2010年3月期 決算説明会



ダイセル化学工業株式会社
DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

2010年5月14日

目次

2010年3月期実績

業績概要

売上高・営業利益推移

連結の範囲

連結損益計算書

創立90周年を迎えました

配当の状況

売上高・営業利益分析

セグメント情報

P3～P14

P3

P4

P5

P6

P7～P8

P9

P10

P11～P14

2011年3月期見通し

業績見通し

売上高・営業利益の推移と見通し

売上高・営業利益分析

セグメント情報

設備投資額推移

主な設備投資(2009年度)

減価償却費推移

研究開発費推移

P15～P28

P15～P16

P17

P18

P19～P22

P23

P24～P26

P27

P28

連結貸借対照表

総資産・有利子負債推移

P29

P30

Grand Vision 2020

P31

予測に関する注意事項

P32

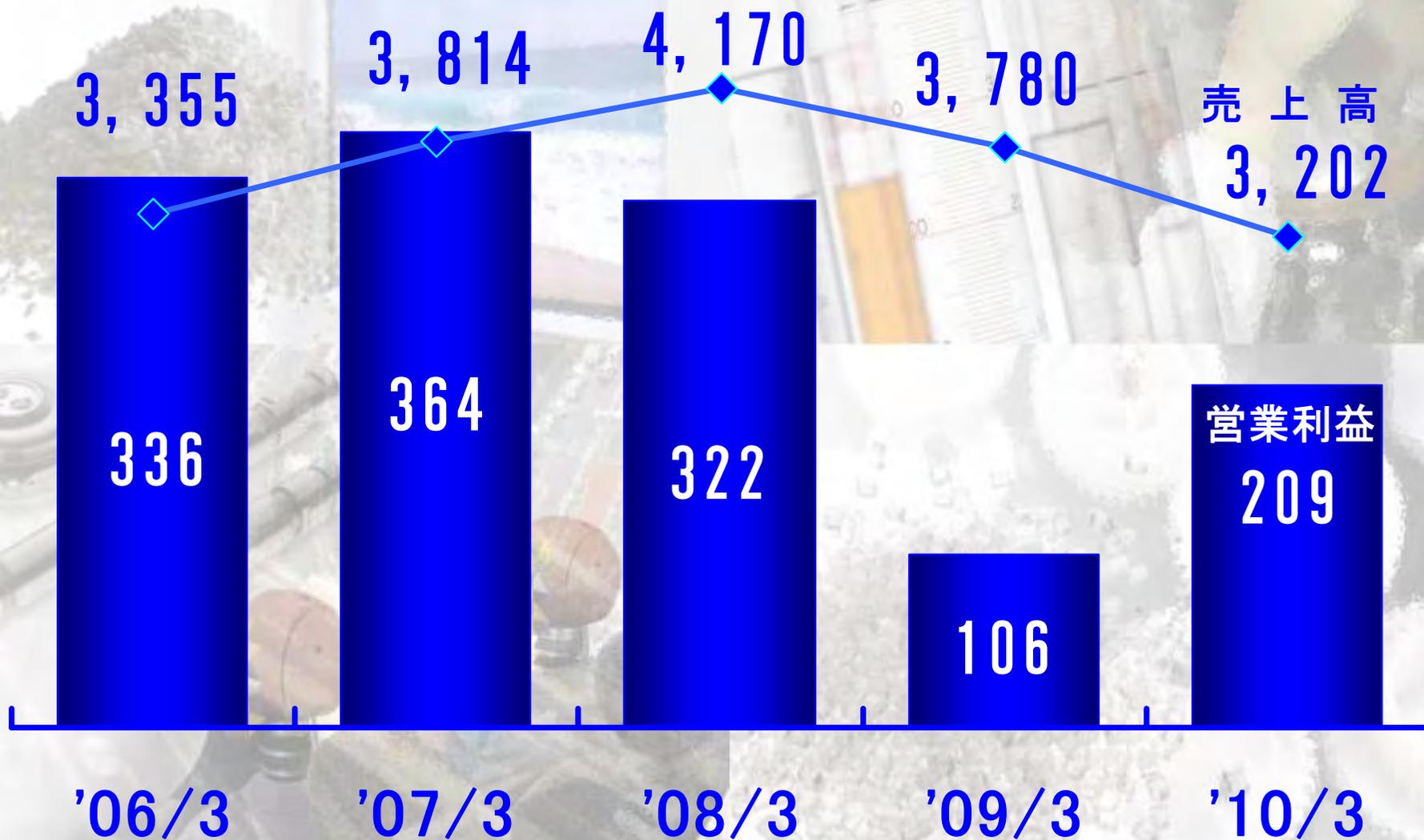
業績概要

(単位:億円)

	2009/3	2010/3	増減	増減率
売上高	3,780	3,202	△577	△15.3%
営業利益	106	209	+103	+97.0%
経常利益	82	200	+118	+143.4%
当期純利益	13	111	+98	+754.1%
為替レート	103円	93円		

売上高・営業利益推移

(単位:億円)



連結の範囲

	2009/3	2010/3	増減
連結子会社数	46社	46社	±0
持分法適用会社数	10社	9社	△1
計	56社	55社	△1

連結損益計算書

単位：億円

	2009/3	2010/3	増減	備 考
売上高	3,780	3,202	△ 577	数量差△343 単価差△235(為替△129)
売上総利益	649	693	+44	
販売費及び 一般管理費	543	484	△ 58	販売数量減による販売直接費△24 一般管理費△34
営業利益	106	209	+103	数量減△93、価格効果+51(内、為替△45) コストダウン+123、減価償却費減+19
営業外損益	△ 24	△ 9	+15	為替損益の改善+9 持分法損益改善+6(寧波大安化学本格稼働など)
経常利益	82	200	+118	
特別損益	△ 19	△ 31	△ 11	
税金等調整前 当期純利益	63	169	+106	
法人税等、 少数株主利益	50	58	+9	
当期純利益	13	111	+98	
為替	103円	93円		

2009年9月8日に創立90周年を迎えました



これからも「モノづくり」にこだわり続け、
社会の発展に貢献してまいります。



エアバッグ用インフレーター事業化



2009年 創立90周年



メタノール法
酢酸

Epoch-making
Archives

ポリプラスチック(株)設立



1919年創立



富士写真フィルム(株)設立
(現 富士フィルム(株))



配当の状況

当期の期末配当: 1株につき6円

普通配当 4円

創立90周年記念配当 2円

当期の年間配当: 1株につき10円

売上高・営業利益分析

【売上高】

単位：億円

	2009/3	2010/3	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	724	769	+46	+29	+17
有機合成	911	742	△168	△44	△125
合成樹脂	1,482	1,116	△366	△276	△89
火工品	600	513	△87	△50	△37
その他	64	62	△2	△2	-
合 計	3,780	3,202	△577	△343	△235

【営業利益】

単位：億円

	2009/3	2010/3	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	22	121	+99	+21	+57	+21
有機合成	47	59	+12	+6	△20	+26
合成樹脂	80	53	△27	△94	+25	+42
火工品	27	48	+22	△28	△10	+60
その他	6	8	+2	+2	-	-
全 社	△76	△80	△4	-	-	△4
合 計	106	209	+103	△93	+51	+145

セルロース事業セグメント

売上高

・酢酸セルロース + 50億円
LCD向け回復

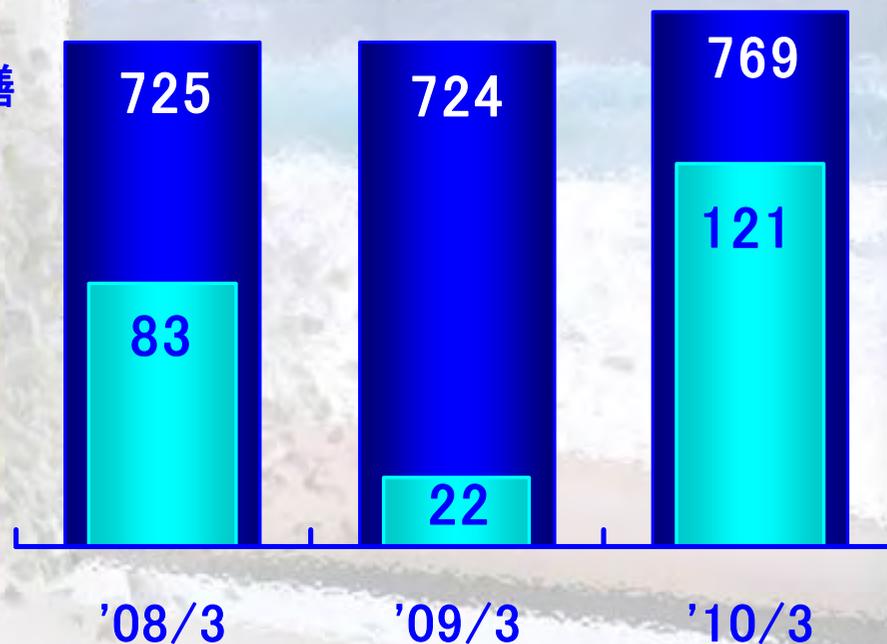
・たばこフィルター用トウ 微減
フル生産
網干工場 2年に一度の定期修繕

(為替の影響 △36億円)

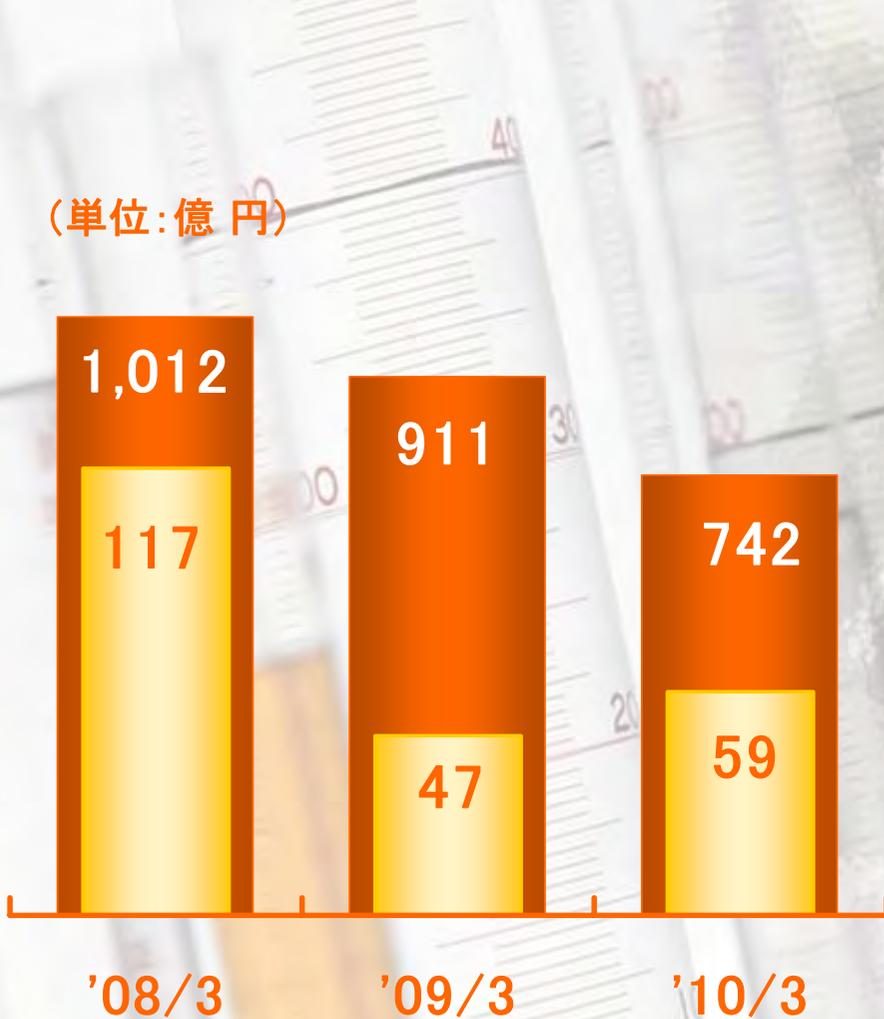
(単位:億円)

営業利益

・TAC販売数量 増
・減価償却費 減
・コストダウン



有機合成事業セグメント



売上高

- ・酢酸 市況ダウン・円高 $\Delta 52$ 億円
- ・酢酸誘導品等の汎用品と機能品 $\Delta 102$ 億円
一部電材向け溶剤を除き需要低迷
- ・CPI $\Delta 14$ 億円
海外大手製薬メーカーの研究開発費減

(為替の影響 $\Delta 23$ 億円)

営業利益

コストダウンで増益

合成樹脂事業セグメント

売上高

・ポリプラスチック(12月決算) △ 279億円

前半:大幅需要減(1~3月の自動車減産・在庫調整)

6月以降は、回復傾向

・コンパウンド、樹脂加工 △ 68億円

数量減

・三国プラスチック連結除外 △ 13億円

(為替の影響 △46億円)

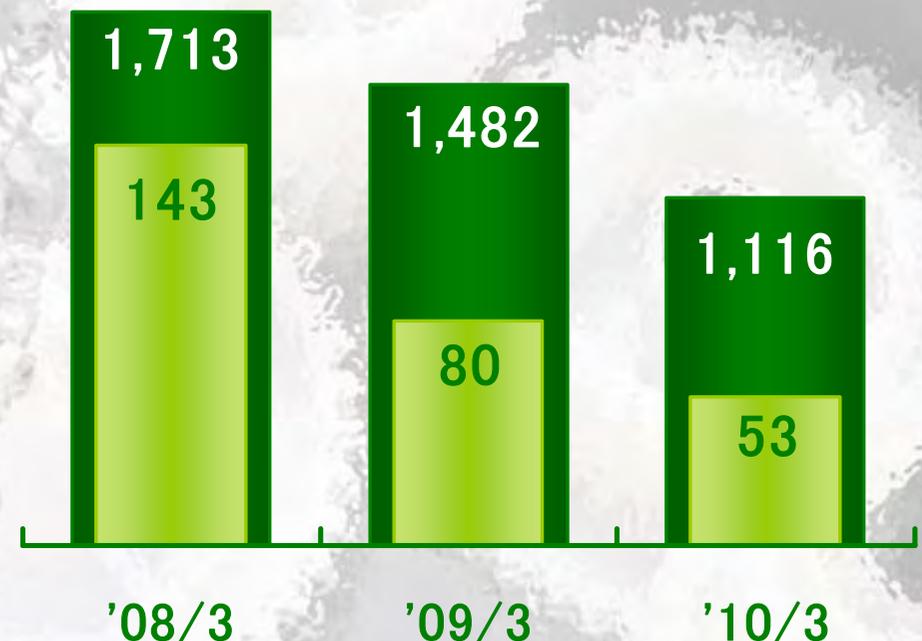
(単位:億円)

営業利益

・ポリプラスチック △ 49億円

・コンパウンド、樹脂加工 + 13億円

不採算事業見直し、コストダウン



火工品事業セグメント

売上高

・MSD事業 △ 88億円

自動車減産・在庫調整による販売数量の減少

4,196万個 ⇒ 3,753万個

グローバルシェア 20%達成

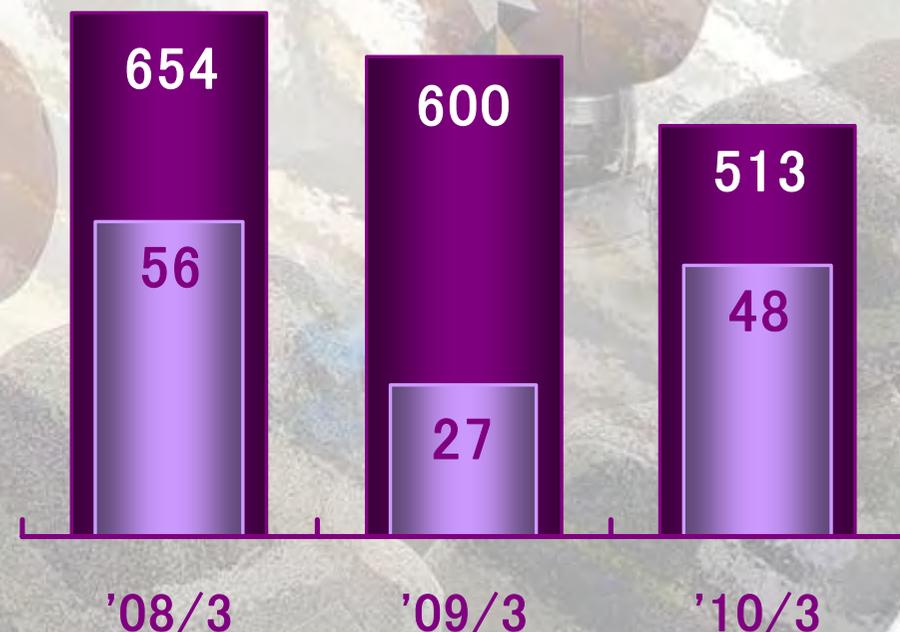
(為替の影響 △23億円)

営業利益

・コストダウン + 22億円

要員体制見直しによる固定費削減

グローバルでの総原価低減活動



2011年3月期業績見通し

前提条件

		2009年上期実績	2009年下期実績	2010年上期計画	2010年下期計画
為替レート		95円	93円	90円	90円
原料	メタノール (欧米コントラクト価格)	\$220	\$330	\$360	\$350
	原油(ドバイ)	\$63	\$76	\$80	\$80
	国産ナフサ	37,400円	45,000円	50,000円	50,000円

2011年3月期業績見通し

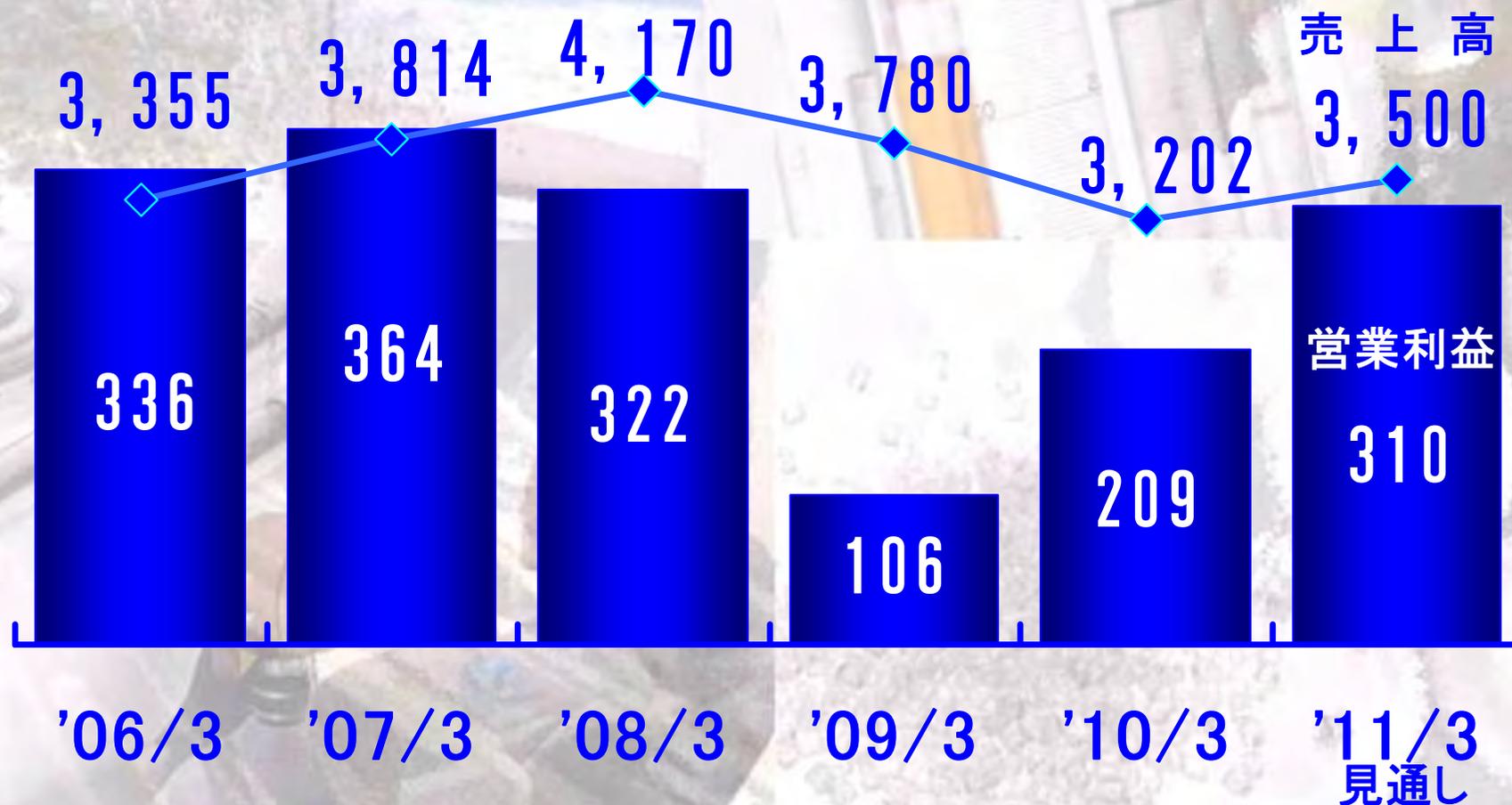
(単位:億円)

	2010/3 実績	2011/3見通し	増減	増減率
売上高	3,202	3,500	+298	+9.3%
営業利益	209	310	+101	+48.6%
経常利益	200	290	+90	+45.1%
当期純利益	111	165	+54	+49.1%

為替レート	93円	(前提) 90円
-------	-----	----------

売上高・営業利益推移

(単位:億円)



売上高・営業利益分析

【売上高】

単位: 億円

	2010年3月期 実績	2011年3月期 見通し	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	769	770	+1	+85	△84
有機合成	742	840	+98	+101	△3
合成樹脂	1,116	1,290	+174	+212	△38
火工品	513	540	+27	+35	△8
その他	62	60	△2	△2	-
合 計	3,202	3,500	298	+431	△133

【営業利益】

単位: 億円

	2010年3月期 実績	2011年3月期 見通し	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	121	125	+4	+62	△11	△47
有機合成	59	70	+11	+60	△40	△8
合成樹脂	53	120	+67	+93	△69	+44
火工品	48	70	+22	+33	+5	△17
その他	8	7	△1	△1	-	-
全 社	△80	△82	△2	-	-	△2
合 計	209	310	+101	+246	△115	△30

セルロース事業セグメント

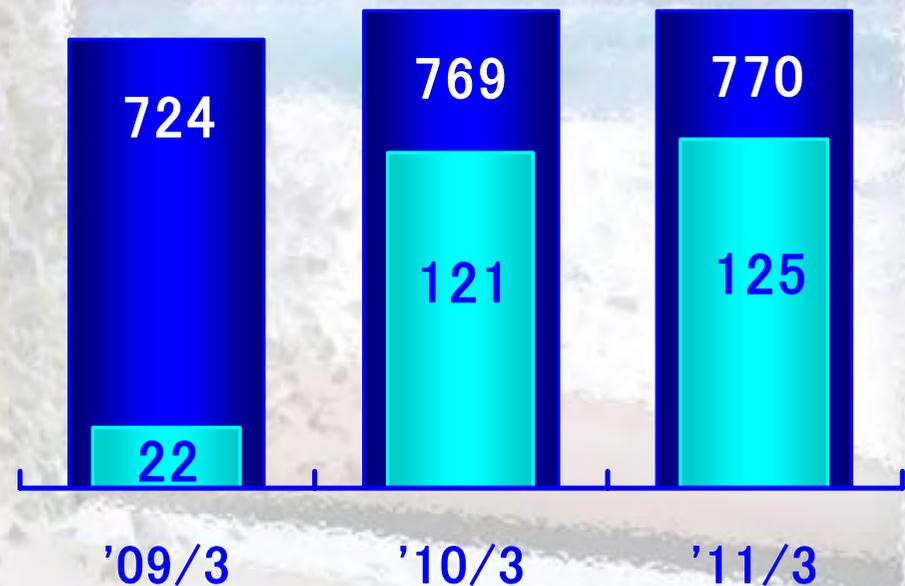
酢酸セルロース

LCDフィルム向けTAC 数量増

(単位:億円)

アセテート・トウ

フル生産

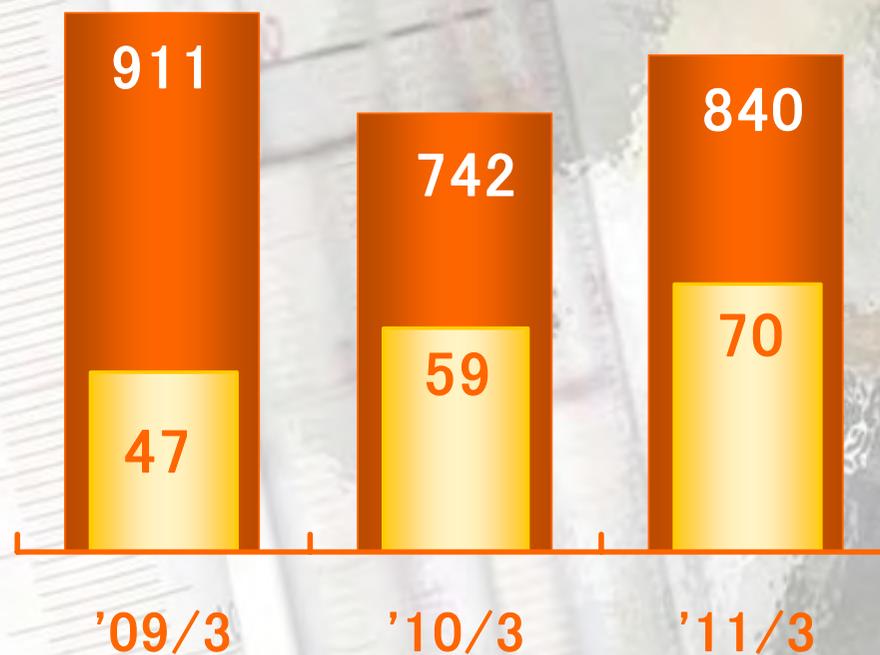


有機合成事業セグメント

'09/下期の傾向が続く

バイオエタノールを活用した酢酸エチル、脂環式エポキシ樹脂の拡販

(単位:億円)



合成樹脂事業セグメント

需要回復により増収増益

(単位:億円)



火工品事業セグメント

インフレータ事業

インフレータ販売数量

2009年度 3,753万個

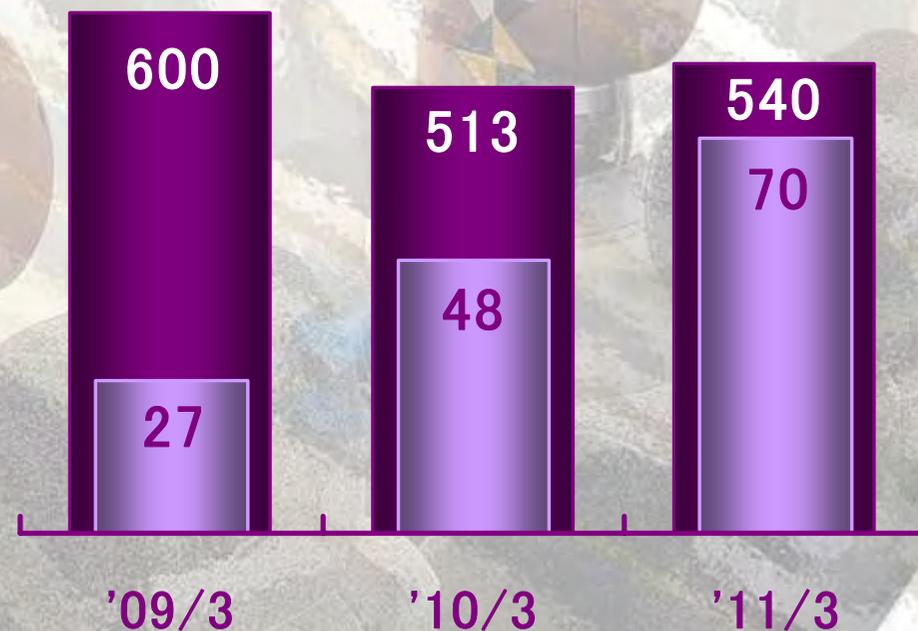
→ 2010年度 4,200万個
(+447万個)

数量増により増益

特機事業

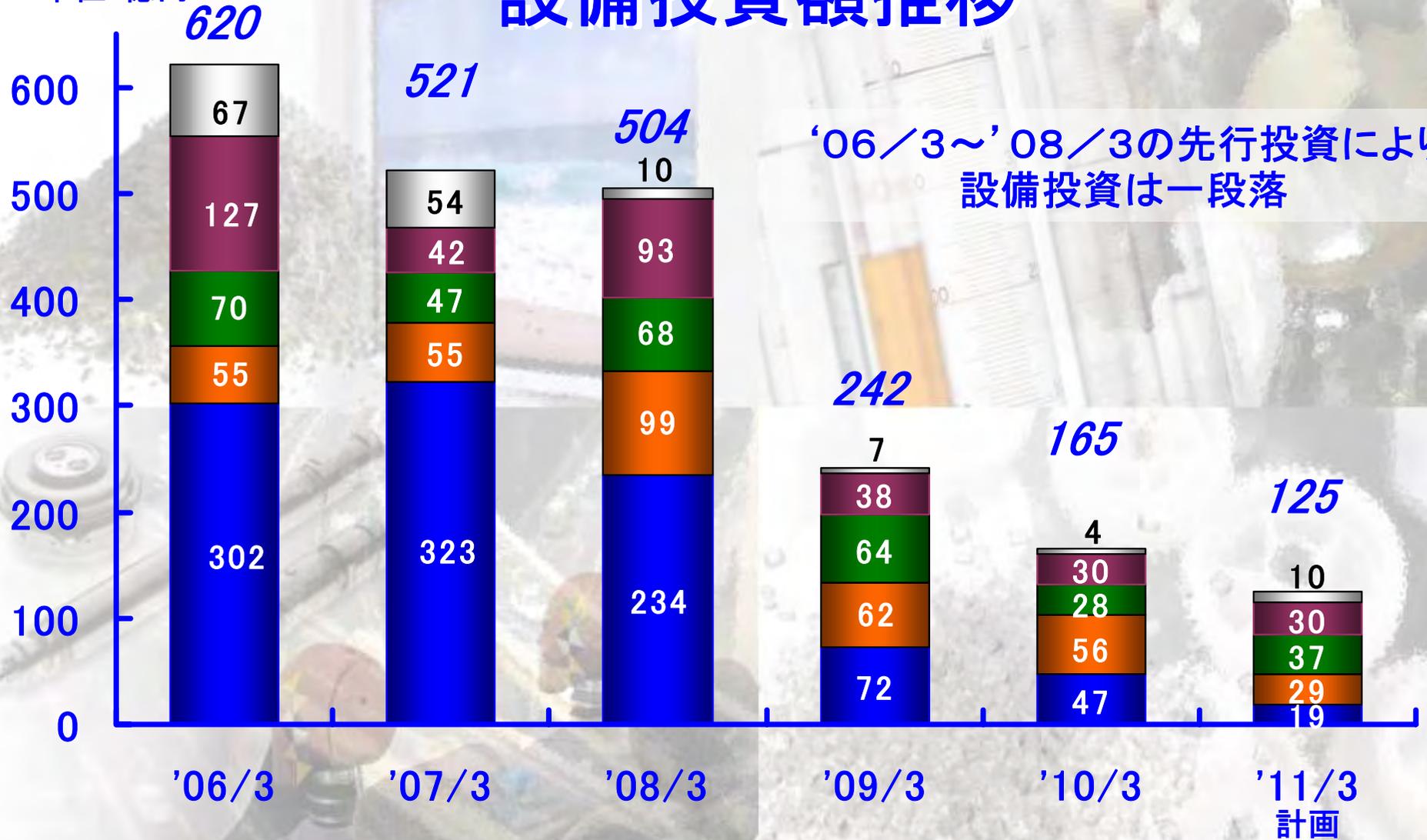
防衛予算抑制の影響で若干減収

(単位:億円)



設備投資額推移

単位: 億円



■ セルロース ■ 有機合成 ■ 合成樹脂 ■ 火工品 ■ その他全社

網干工場アセテート・トウ製造設備増強

海外でのスーパースリムたばこ向け需要の増加に対応して
網干工場のアセテート・トウ製造設備を増強

2010年1月から稼働



エタノール法酢酸エチル製造設備稼働

バイオエタノール
Bioethanol

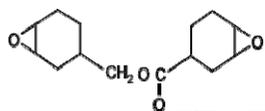
エチルアミン

酢酸エチル

スライド 15

化石原料に依存しない持続可能な発展を目指す、
バイオエタノールを原料とした化学品製造：
エタノール法酢酸エチル製造設備が2009年7月に稼働





脂環式エポキシ樹脂生産能力増強

「セロキサイド2021P」

炭素繊維やLED向けなどの
高付加価値分野での新規需要増

⇒今後の成長が期待できる
低粘度、耐熱性、透明性で、
代替競合品に対し優位

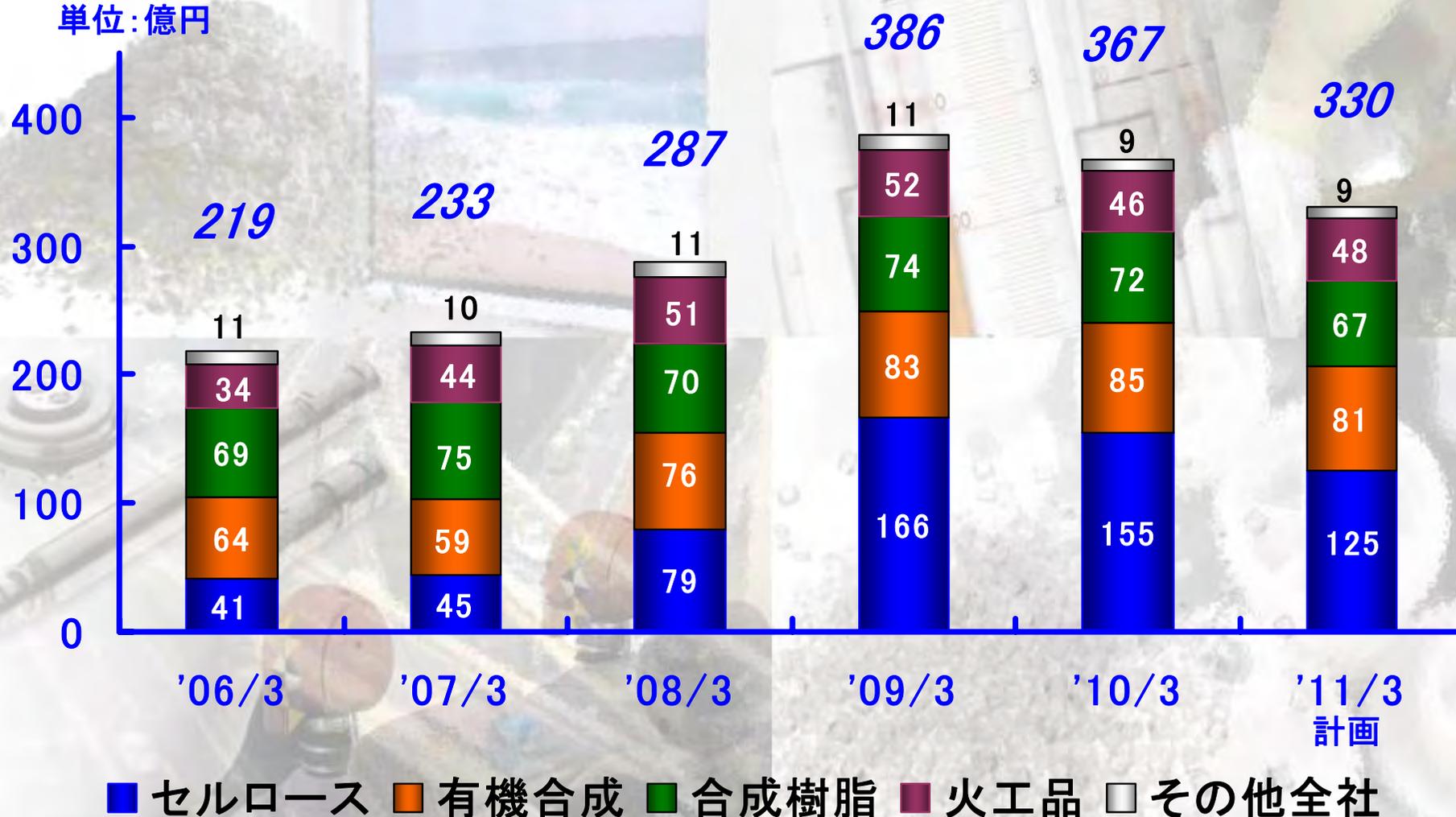
大竹工場の生産能力を増強し、
2009年12月から本格出荷開始

「セロキサイド 2021P」を
ベースに自社開発した
LED用透明封止材
「セルビーナス」を
2009年9月に上市

原料と封止材の両面から
LED市場の拡大に貢献し
お客様とともに成長を目指す

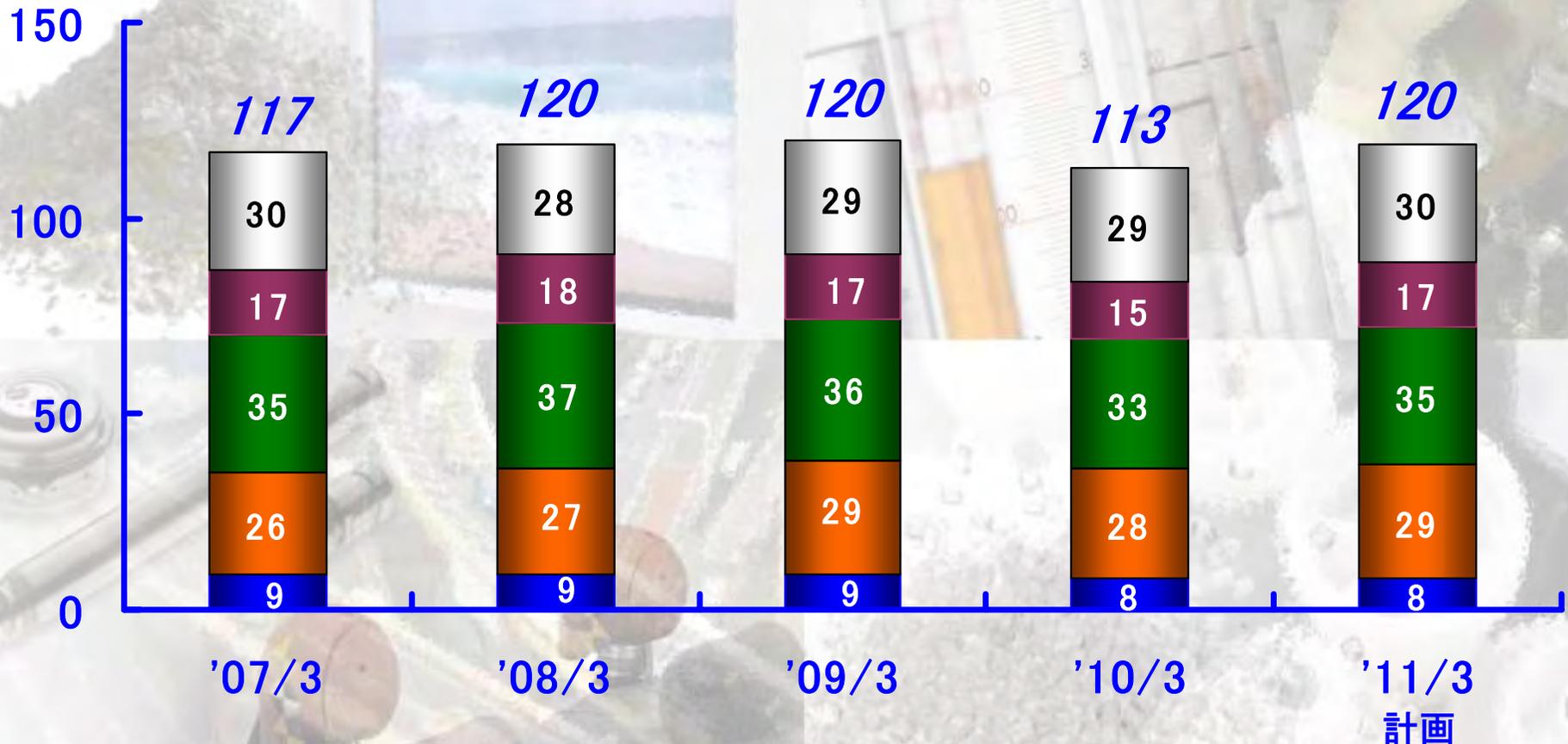
減価償却費推移

単位: 億円



研究開発費推移

単位: 億円



■ セルロース ■ 有機合成 ■ 合成樹脂 ■ 火工品 ■ その他全社

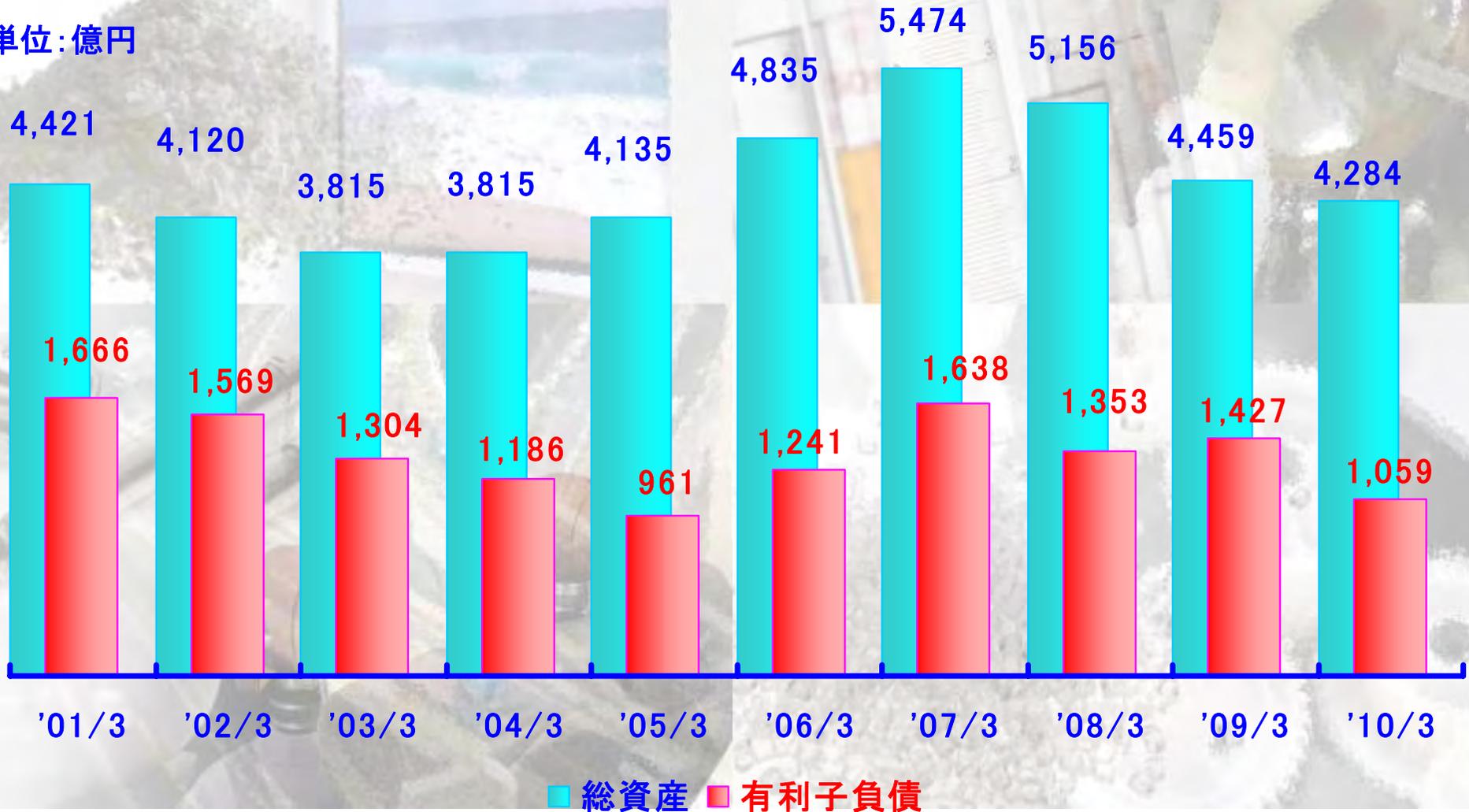
連結貸借対照表

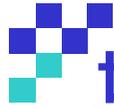
単位：億円

	2009年3月末	2010年3月末	増減	備 考
流動資産	1,855	1,802	△53	
現金及び現金同等物	305	301	△4	
受取手形及び売掛金	597	733	+135	
棚卸資産	760	626	△134	
その他	193	142	△51	
固定資産	2,604	2,481	△122	
有形固定資産	1,963	1,754	△210	取得159、償却△353
無形固定資産	39	38	△1	
投資その他資産	601	690	+89	投資有価証券：時価評価額増
資産合計	4,459	4,284	△175	
負債	2,344	1,994	△351	
有利子負債	1,427	1,059	△368	有利子負債比率 24.7%
その他	917	935	+18	
純資産	2,115	2,290	+175	
負債純資産 合計	4,459	4,284	△175	

総資産・有利子負債推移

単位: 億円





世界に誇れる『ベストソリューション』実現企業を目指します

The Best Solution for You

最良のソリューションを創造し、提供する

社会やお客様のニーズ

世界に誇れる
「モノづくりの仕組み」の構築

パートナーとの
強固な信頼の絆

ユニークで
多彩な技術

先進の生産方式



予測に関する注意事項

- ★本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ★ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はダイセル化学工業(株)に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。